

目次

◆巻頭言 年頭所感……………加藤 三重次/1

◆技術開発は今…国立研究機関等の技術開発の動向

 土木研究所の技術開発……………青木 佑久/3

 工業技術院における技術開発の動向……………武田 貞生/7

 港湾技術開発を担って……………村上 義範/11

 農業土木試験場における技術開発の動向……………渋谷 勤治郎/17

 新エネルギー総合開発機構における
 新エネルギー開発について……………内村 理史/20

 海洋科学技術センターにおける技術開発の動向……………田中 孝紀/23

◆随想 雪国から……………土屋 雷蔵/26

15t 水平伸縮式ジブクレーンの開発……………和徳 貞龍/28

グラビヤー昭和63年中に完成が予定されている工事

小口径管推進機(アイアンモール)による長距離推進工法の開発……………竹内 卓
 土大 藤 佐々木 初 陸 治
 大 藤 佐々木 橋 夫
 藤 佐々木 橋 智 也
 佐々木 橋 智 寛

◆'87 建設機械の現状

6. コンクリート機械

 6.1 コンクリートプラント……………土居 平治/38

 6.2 トラックミキサ……………本間 辰也/40

 6.3 コンクリートポンプ、ポンプ車……………木坂 博/42

7. 舗装機械

 7.1 アスファルト舗装機械……………高野 漢/44

 7.2 路上表層再生機械……………高野 漢/48

 7.3 コンクリート舗装機械……………高野 漢/50

8. 維持修繕機械および除雪機械……………伊藤 豪 誠登/52

◆新工法紹介

臨海杭打工法/PBS工法/QCS濁水処理工法……………調査部会/60

◆新機種ニュース……………調査部会/63

◆文献調査

文献目録紹介……………文献調査委員会/68

◆ISO規格紹介

土工機械に関するISO規格(27)……………ISO部会/71

◆整備技術

新しい診断・再生技術(第12回)
 溶射による再生・補修技術……………整備部会/75
 その2 溶射技術の実用編

◆統計

建設投資推計ほか……………調査部会/80

理事会の開催……………/81

行事一覧……………/81

編集後記……………(本田・本倉・端)/84

◀表紙写真説明▶

凍結防止剤散布車 ESD 20

東洋運搬機株式会社

本機は路面の凍結防止と融雪などを目的として車速の変化に関係なく規定量の薬剤散布を可能としたもので昭和59年度、建設機械化研究所における性能、稼働試験を受けて現在、自走式(2m³級)ESD 20型、自走式(4m³級)ESD 40型の2機種が各地で活躍中である。

特長

- ① 車速同調均一散布の散布量自動制御式
- ② スクリューフィーダでタンク後方に送った薬剤をメタリングロータ(排出量調整装置)で確実に排出する2ステージ方式
- ③ 散布操作はすべて運転席で可能(運転席キーボード操作)
- ④ ホッパー・タンクは一体で水洗容易化による防錆対策構造
- ⑤ ホッパー・タンクは乾燥用エンジン排ガスダクト付

◀主な仕様▶

散布幅(m)	3, 4, 5, 6, 7
	(2m ³ 級、4m ³ 級、共通)
散布量(g/m ²)	20, 30, 40, 50, 70 (*)
作業速度(km/hr)	5~40 (*)
薬剤種別(粉体)	塩化カルシウム、塩 (*)